

編集長：蛭灰谷愛
編集委員：平岡惟 増田圭輔 矢原有理 ジャック・ファリス
菊地原徹郎 中島和也 藤井高広

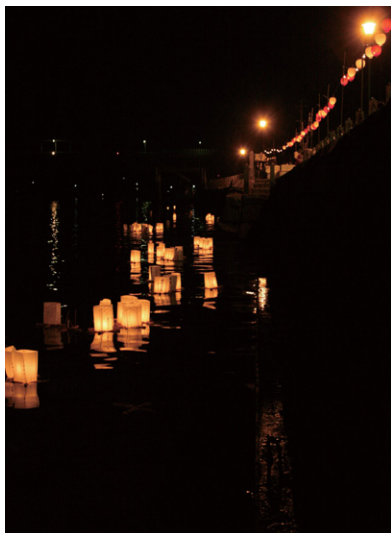
鞆、今年は表舞台でプロジェクト！ —瀬戸田で第2回展示会、鞆で企画実施に向けたWS開催—

M2 北村修一

宮崎駿作品の「崖の上のポニョ」の舞台となり、何かと話題が豊富な鞆の浦。都市デザイン研究室の鞆プロジェクトでも「港町交叉展inせとだ」やワークショップ「ヨルトモ」を実施。今年は鞆から目が離せません。

8月、鞆PJはいつになく大忙しでした。

まず23日、瀬戸田にて「港町交叉展inせとだ」を開催。最初、出だしは鈍かったものの、地元の方が知り合いなどを連れて来てくださり、活発な意見交換ができました。「とあるヤンママ風の奥さんが、子供が『もう他に行こうよ!』とせがむ中、『あとちょっとだけ』と、ずっと熱心にパネルを見てくれていたのに感動した」と、M2山田。最後は灯籠流しを見つ、海岸でビールを味わい、至福のひとつを過ごしました♪



▲ 灯籠流しの様子

息つく間もなく、次の日の晩には鞆でワークショップ。「夜こそ、鞆の魅力がある」と考え、鞆PJでは中秋の名月に「ヨルトモ」という夜のイベントを企画。遅くまで店を営業してもらおうべく、この日はお店の人など10人ほどに集まってもらい、夜遅くまで営業することの課題などについて議論を交わしました。店の方々の反応は上々。何としてでもお客さんを町に呼び込み、「これからは夜まで店を開けてよう」って思ってもらおうべく、企画の成功を祈るばかりです。

なお「ヨルトモ」は、9/13~14の夜に実施します。もし学会前にお時間があつたら、ぜひ鞆へ来て下さいね!!

▲ 港町交叉展inせとだの開催模様
会場:「汐待亭」(歴史ある町家)

▲ 鞆でのWSの様子

半間ルールモックアップ作製 高山PJ現地調査

M1 土信田浩之

8月27日から31日の日程で、高山の調査に行ってきました。今回は昨年度から温めてきた半間ルールの企画を、現地でモックアップ作製し、実際にまちなかに置いてみるという実験を行いました。半間ルールとは、家の建替えが進むのを待つ間、街並み改善に寄与することを目的とし各戸の道路境界の北側半間分を共通のルールをもって揃えていくという考え方です。

しかし、高山に5日間滞在中3日間が雨という生憎の天気のため、作業が思うように進まず屋内の作業場を貸していただき、なんとか完成したという感じです。素材は経費の関係から段ボール、大・中・小の3つを1/1の大きさで作り、セットバックしている建物の前に設置し、街並みにどんな影響をあたえるか、大きさは適切かの2点を検証しました。

今後は検証結果をふまえ、機能・デザイン・使いやすさを改善し実現に向けて頑張っていきたいと思っております。



▲ 黙々と作業するM2大道とM1藤井



▲ モックアップへの講評の様子



▲ 半間ルール現地実験の様子

「おわら風の盆」@八尾

text_kikuchibara

9月1日、八尾の「おわら風の盆」を見学してきました。今回の訪八の主目的は観光でしたが、今後の八尾プロジェクトのための調査旅行という側面も持ち合わせていました。平成16年度から続く八尾プロジェクトは、昨年度で一つの区切りを迎えています。今年度はこの4年間で私たちが「何をしてきたか」、「何を考えてきたか」を八尾市民に伝えられるよう、雑誌を作成しています。その一方で、まちづくりに関わり続ける継続性も重要だと考え、極少数数であります、八尾での活動を続けています。その一つとして、10月に行われる「坂の街アート」への参加を企画中です。短期集中プロジェクトですので、興味のある方いらっやいましたら、是非声を掛けて下さい!!



▲ 八尾の夜景



▲ おわら風の盆

インターン体験記

□ 株式会社 エックス都市研究所(都市コンサルタント)

M1 竹本千里

8月25日から9月5日までエックス都市研究所でインターンをさせていただきました。上司との相談の上、ヒートアイランド対策事業の経済評価のためのアンケートと、エネルギー消費モニター実験のアンケートを作成することに。二週間、文書を作って議論をして修正を加えるという作業をひたすら繰り返し、最終的には納得のいくものを作れたのではないかと思います。都市デザイン、という分野をベースにしながらも、環境・文化・産業などの分野にも精通していくことの重要性を実感する二週間でした。

□ 株式会社 竹中工務店(総合建設会社)

text_fujii

9月1日から12日まで竹中工務店でインターンをさせていただきました。2週間、あるプロジェクトの提案書づくりに没頭しました。企画の段階には関わることはできませんでしたが、提案書を詰めていく仕事に関われたことで、プレゼンテーションの難しさを学ぶことができました。そしてなにより、2週間という短い間でしたが、仕事場の雰囲気や味わえたことは貴重な経験となりました。



▲ 現地見学

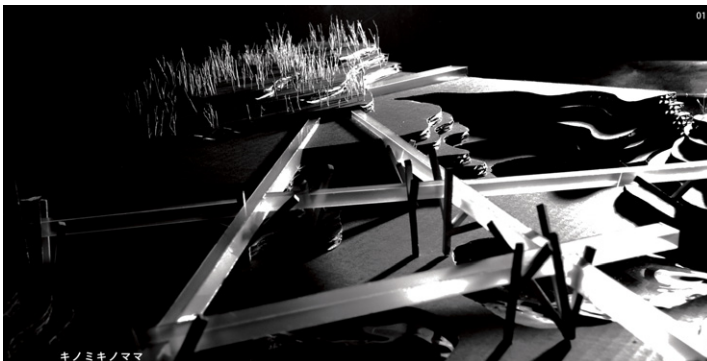
第3回愛知建築士会学生コンペ「瀬戸グランドキャニオン」、無事提出へ

9月8日、M1の有志5名(菊池原、土信田、中島、西川、藤井)、第3回愛知建築士会学生コンペ「瀬戸グランドキャニオン」へ作品を提出しました。

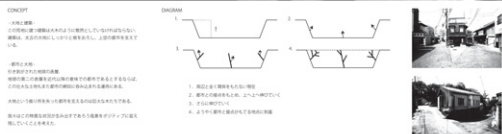
このコンペは愛知県瀬戸市にある露天掘り採掘現場の再生・活用を提案、そして建築まで落とし込むというものでした。このコンペで最も苦労させられたのは、100haを超える規模の敷地と露天掘りという高低差が100m近くなる起伏の激しい地形。今まで経験したことのないような規模と地形に戸惑いながらも、議論を重ねていきました。

9月頭からM1土信田を筆頭に、本格的に始動。コンペの時間をあまり確保することができませんでしたが、短期集中で、無事提出までこぎつけることができました。

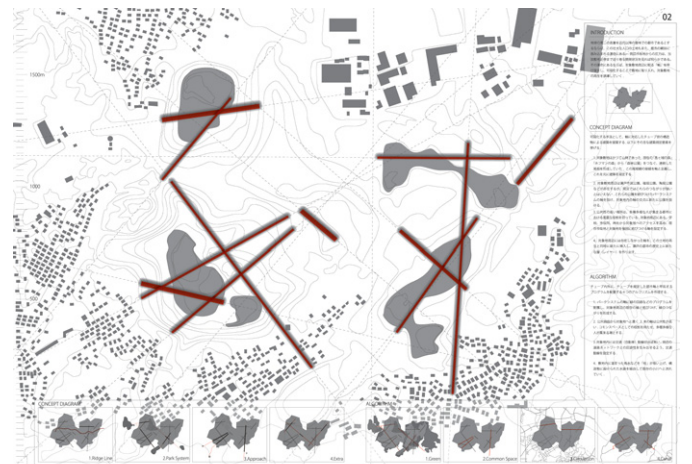
皆様、本当にお疲れさまでした。良い結果を期待しましょう。



キノミキノママ

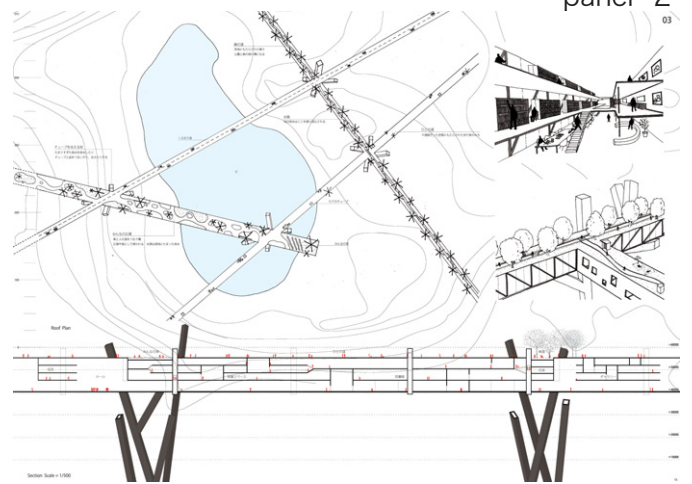


panel 1



text_fujii

panel 2



panel 3

編集後記

夏休みももうすでに後半戦。出雲のワークショップ、高山プロジェクトの現地調査、瀬戸コンペ、インターンシップ、バイトといっただけで忙しい日々でした。「院生に夏休みはない!」...身をもって実感しました。あと、インターンの生活が続いたためでしょうか、朝6時半に目が覚めます。快適です。この習慣を大事にしたいですね。

text_fujii

都市デザイン研究室 9月下旬の予定

9月13日 第4回tvk横浜フューチャーカフェ
9月18日-21日 建築学会
9月22日 読書会(中島先生の講義)